

中山峠 蓬萊山(980.3m) ～幌滝山(996.7m)

中山スキー場より往復
平成 29 年 12 月 9 日(土)

CL 相馬

スキー L 西田(芳) SL 藤木(晴) 近藤 山岸 佐藤
澤田 笹山 渡邊

スノーシュー L 藤木(た) SL 太田 西田(昌) 及川
八重樫 以上 14 名

| | |
|---------------------------|------------------|
| 7:00 伊達道の駅 | 8:45～9:20 中山スキー場 |
| 10:10 蓬萊山 | 10:50 924m 最低地点 |
| 11:50～12:40 幌滝山(昼食) | 13:40 蓬萊山 |
| 14:00～14:40 中山スキー場 | |
| 15:50～16:40 洞爺いこいの家 | |
| 17:30 伊達道の駅 | |
| 登り 2 時間 30 分 下り 1 時間 20 分 | |

朝から風はなかったが尻別岳の頂上は雲に隠れて山の天候が心配。スキー場に着くと心配して損をしたと思うぐらい青空が広がっていた。すでに整備が終わって、コース全体に洗濯板を横にしたような雪の波ができていて、とても綺麗だった。

準備体操も終わり、スキー班が先に行き、後にスノーシュー、ゲレンデを傷つけないように林道から高压線の作業道を登る。



例年はクマザサが出て歩きにくかったが今年は早々と雪が降りクマザサは雪に隠れ快適にスキーを運ばせることができる。蓬萊山まで斜度の穏やかな斜面を周りの景色を見ながらゆっくりと。



蓬萊山から幌滝山まで 16m の標高差。うまく歩けば楽勝で山頂。ところが先頭はポコの横を通らずポコめざし登っていった。無理せず歩こう。



木々は枝先まで雪をかぶり一足先にホワイトクリスマス。



電波塔に近づき、山頂看板を搜索。看板はすぐ見付き、全員で写真撮影。



その場で昼食、テントをしまい下山。帰りのスキー班はポコを通らず平らな斜面を歩きスノーシュー班は来た道をひきかえす。スキーを滑らせると意外と滑るので下っている実感がわいてくる。蓬萊山の登りは緩くても登りたくないが登らないと帰られないので仕方がなく登る(私の頭の中)。山頂に着く。

シールはずしゲレンデを滑る、あっという間に到着。



とても良い雪だった。天気も良く景色も雪もよく、申し分ない山行でした。リーダー、車を運転された方ありがとうございました。

記録 渡邊